

平成29年度(第66回)事業計画

第1.事業運営方針

1. 平成29年度当期利益を1.79億円確保する。
2. 収入は実績見込の4%増とする。
3. 職員の健康や教育への投資を行い、高い目標の達成に向け自分で考え行動する『自律型人材』の育成を行なう。

第2.総括

平成29年度予算計画

事業収入は施設・出張による予防健診事業の伸びを見込み、平成28年度実績予想に比べて3.26億円増収(104.0%)の85.08億円で計画しました。また第3神戸健診クリニック(仮称)を6月に開業し(オルタンシアビル10階に新たに増設)人間ドックを中心に実施し、受診者のニーズに対応します。

一方、支出面では、事業支出は平成28年度実績予想に比べて4.11億円増(105.2%)の83.13億円となる計画としました。神戸健診クリニックの拡張にともなう機器設備や人員の増加、および11年前に導入したCT装置、その他医療機器装置の更新、施設の改修、職員の能力向上を目的にした教育研修への投資など、さらなる事業拡大に向けた中長期的・継続的な投資を行ないます。また、事業拡大に対応するための医師を含めた職員の採用を継続します。

この結果、当期利益は1.79億円を見込みます。

以下、事業計画に関して特記事項を示します。

・ 医療事業

- (1) 家族（主婦）健診の増加に伴う精密検査に対応するために乳腺外来枠の拡大に努め、速やかに精密検査を受診していただける体制を構築します。
- (2) 上部消化管内視鏡検査および腹部超音波検査の検査枠をさらに拡大し、受診者のニーズに合わせた検査体制を構築します。
- (3) 低線量による被曝の軽減と造影剤の用量抑制など、検査時の受診者の負担軽減と精度向上を選定基準に、本部CT装置の更新を実施します。

・ 予防健診事業

1. 総合健診センター

- (1) 午後の人間ドックを一部開催し、施設健診の需要増加に対して受診枠の確保に努めます。
- (2) Web予約の利用促進、予約受付職員の増員、コールセンターの一部外注化等を行い、予約受付業務の強化に努めます。

2. 宇治支所

- (1) 健康経営とデータヘルス計画に沿った事業の推進を行います。
各企業の健康経営の推進と取り組み状況を把握し、状況に応じた産業保健サービスの提案をおこないます。
- (2) 退職者の総合的な健康管理をサポートするサルーテ「退職者健康管理友の会」の会員数2,000名を目標に積極的な事業展開を図ります。
(平成29年2月末日現在1,464名)
- (3) 平成28年度に導入した出張健診IT化システムを本格的に全班に導入し出張健診のIT化を行うと同時に業務改革を行い精度向上と効率化を目指します。
- (4) 姫路事務所を活かした業務の拡大、効率的な健診業務の運用を図ります。

3. 神戸健診クリニック

- (1) 第3神戸健診クリニック（仮称）を新設し、人間ドック受診者のニーズに対応します。
- (2) 上部消化管内視鏡検査を増設し、受診者のニーズに合わせた検査体制を構築します。

・ 検査指導事業

1. 環境保健

- (1) 特殊健康診断を実施している事業場に対し、当会事業場担当者との連携を強化し、更なる作業環境測定等の提案活動を継続的に行ないます。
- (2) 今後法改正が見込まれる新規物質への分析準備、新規分析受託の拡大に努めます。

2. 管理指導

- (1) 健康経営に対応したメンタルヘルスサービスおよび産業保健サービスを確立します。
- (2) 産業医や保健師による健診後の事後措置を強化し、生活習慣病の予防と重症化の抑制に努めます。
- (3) 良質なサービスを提供するため、産業医体制を強化し、健康管理水準の向上に貢献します。